

# 産官連携による地域日本語教室への支援活動を開始!

本会と一般社団法人中部経済連合会、公益財団法人愛知県国際交流協会、愛知県の4者は、外国人との共生社会づくりを目指した取り組みの一環として、地域のNPO等が運営する外国人の児童生徒を対象とした「地域日本語教室」への支援活動を開始します。

本年度は、西三河地域と尾張地域の日本語教室と企業を対象としたパイロット事業をスタートさせました。来年度以降には県内の他地域、さらには全国に拡大できるモデル、となる取り組みの実現を目指します。

## 《活動の趣旨・概要》

愛知県では外国人労働者が約18万人で全国2位となっています。中でも愛知県の日本語教育が必要な児童生徒数は10,749人で全国1位となっており、重要な課題となっています。

現在県内の数多くの地域では、外国につながりを持つ子どもたちのための「地域日本語教室」が運営されており、そのほとんどがボランティア活動によって支えられています。

ボランティアの高齢化や固定化が進んでいる教室もあり、子どもたちへの日本語学習支援や団体運営を担う人材の不足等、多くの問題が顕在化しており、企業からのボランティアや施設の提供など多面的なサポートとその仕組みづくりを実践していくこととしました。

## 西三河地域でボランティア研修とマッチングイベントを開催しました!

2022年12月上旬頃を目途に、西三河地域の「地域日本語教室」に企業からのボランティアを派遣します。今般ボランティア活動に先駆けて、10月30日(日)にボランティア研修、11月5日(土)にマッチングイベントを開催しました。

ボランティア研修では、講師に愛知県多文化共生推進室 あいち地域日本語教育推進センター 千葉月香氏を迎え、愛知県での外国人を取り巻く状況について全体像を把握し、地域日本語教室ボランティアの活動について理解を深めました。

マッチングイベントでは、実際に「地域日本語教室」で活躍されている方から、教室の概要や活動内容を説明いただき、ボランティア参加者と直接意見交換を行いました。

ボランティア参加者からは、地域日本語教室代表者の熱い生の声を聞いて、外国につながりを持つ子どもたちを支えたいという気持ちが強くなったとの声がありました。

今後はボランティア参加者が各日本語教室の見学に赴き、順次、ボランティア活動を開始していきます。



日本語教室の活動を説明する教室代表者



教室に多くの疑問を投げかけるボランティア参加者